重点開発課題・重点事項（案）

1. 目標と重点開発課題

ガーナ政府が進めている GPRS が目指す「貧困削減を伴った経済成長」を実現するために、我が国が重点的に支援する開発課題として、「人間の安全保障」の観点から、地方農村部の貧困を削減し、地域格差の是正や成長に繋げる環境づくりを行う「地方農村部の活性化」を支援する。また、持続的な貧困削減のために、潜在力ある産業を育成することにより、雇用創出、所得の向上を図り、また、国際市場も視野に入れた競争力強化により、同国の中・長期的経済成長に貢献しうる点を重視した「産業育成」を支援する。各協力プログラムに対する投入群は、これらの課題達成への貢献度を踏まえて形成する。

さらに、これらの重点課題達成を促進し、自立的・持続的開発につなげるために、セクター横断的に、上記2つの重点開発課題を支えるものとして「行政能力の向上・制度改善」を支援する。

（なお、「選択と集中」の観点から、下記に掲記した内容のうち、「重点的に取り組む/重視して支援する」としているものは、全体の支援において最も重視すべき事項であり、「取り組む、もしくは検討する」としているものは、我が国として関与すべき事項又は将来重要となりうる事項とする。また、言及されていない事項については、掲げる2つの開発支援課題に沿うものでないものとして優先度が低いことから、重点支援対象とはしない。）

2. 重点開発課題と重点事項

2-1. 地方農村部の活性化

- ・ 小規模農家の生活基盤を強化し、所得向上を図るため、農業を核として、基盤造り、生産性向上、加工、流通までを視野に入れた「農業振興」プログラムに重点的に取り組み、さらに、その農工間のリンケージを一貫して支援することで、後述の「産業育成」にも繋げていく。また、生産活動を行う前提、貧困からの脱却を図る前提として、保健医療や教育を中心とする社会サービスを改善する「基礎生活改善」プログラムに重点的に取り組む。また、こうしたプログラムに対する支援にあたっては、「人間の安全保障」の視点を重視し、農村全体の自立・発展のために、プログラムを互いに関連づけ、マルチセクトラルに複数の投入を組合せた協力の実施により、相乗効果を図っていく。
- ・ 課題達成のための投入として、我が国の比較優位を活かし、発展の基盤である地方農村インフラ整備を行うとともに、村落発展の担い手である住民や行政等の能力強化・人材育成を中心とする支援を通じ、社会・経済サービスの改善に貢献する。また、事業効果の面的拡大を図る観点から、財政支援型の支援の可能性についても検討する。
- ・ 事業実施にあたっては、「人間の安全保障」の観点から、地域格差是正を図るべく、貧困層が集中する地域を重視した支援を行い、中でも北部地域に配慮する。

◇ 戦略プログラム1：農業振興

- ・ 小規模農家の所得向上のために、コメを含む農作物の生産性向上を図るとともに、ポストハーベストから市場に至るまでの流通や市場開拓等の一連の活動を総合的に支援する農林業・農村開発に重点的に取り組む。
- ・ またそれらの前提となる基盤整備として、農民参加型の営農に関する能力構築、小規模灌漑振興、その普及にかかる組合や普及員などの体制・役割強化について、重点的に支

援するとともに、生産性向上のための技術研究・開発及びその普及にかかる支援に取り組む。

- ・ 上述の各種投入と政策レベルの連携強化のために、中央・地方、両レベルでの農業開発政策・計画立案、財務管理を中心とした農業開発行政能力向上に重点的に取り組む。
 - ・ 上述の重点事項を進める上で相乗効果を図る観点から、道路整備や地方電化の推進などのインフラ整備及びそれに係る維持管理などの実施能力改善に重点的に取り組む。
- ◇ 戦略プログラム2：基礎生活改善
- ・ 地方農村部における保健医療サービス改善や体制強化のために、コミュニティを含めた主体的な参加を目指した地域保健医療体制の総合的改善に取り組む。
 - ・ 基礎保健政策に反映する地方農村部の住民に資する情報システム構築に重点的に取り組む。
 - ・ 感染症対策（寄生虫、HIV/AIDS、マラリア等）に重点的に取り組む。
 - ・ 上述の各種投入と政策レベルの連携強化、同時に、保健セクターにおける政策及び実施の為の能力構築支援に重点的に取り組む。
 - ・ 上述投入の側面支援として、安全な水供給に係る協力を検討する。
- ・ 農村全体が発展するために、担い手である住民一人一人が自立するための能力強化を図る観点から、初等中等教育に取り組む。

2-2. ポテンシャルを活かした産業育成

- ・ 農業・工業を支え、輸入代替を図るとともに、域内・国際市場も念頭においた産業競争力を目的とする「地場産業振興」プログラムに重点的に取り組むとともに、同プログラムの前提として、技術の質的改善を図り、それらに貢献する人材を育成するための「産業人材育成」プログラムに取り組む。
 - ・ 課題達成のための投入として、我が国の比較優位を活かし、産業基盤強化・投資環境改善のための経済インフラ整備及び産業振興の担い手である人材・行政の人材育成を中心とする協力を通じ、産業育成に貢献する。さらに、事業効果の面的拡大を図る観点から、財政支援型への参加の可能性についても検討する。
 - ・ 産業ポテンシャルが見込まれる地域を重点対象地域とし、それらの地域に複数の投入を重ねていくことで援助の発現効果を高めていく。
- ◇ 戦略プログラム3：地場産業振興
- ・ 農工間のリンク強化に留意し、農産品加工や農・工業製品製造などを中心とした製造業振興への支援に重点的に取り組むとともに、裾野産業の育成についても重視する。
 - ・ 農産物を核とした地域特産品の生産など、観光促進にも資する地場産業振興支援に取り組む。
 - ・ 担い手としての中小企業・起業家などの人材育成計画、中小企業振興のための政策立案、制度整備、金融システムの改善を中心とする事業環境整備支援に重点的に取り組む。
 - ・ 上述の重点事項を進める上で相乗効果を図る観点から、道路整備やエネルギー等の経済インフラ整備に重点的に取り組む。
- ◇ 戦略プログラム4：産業人材育成
- ・ 初等から高等教育における教育現場、及びそれらを統括する中央・地方行政の各レベ

ルに働きかけることを通して、理数科教育と技術職業教育訓練の支援に重点的に取り組む。

- ・ 上述の各種投入と政策レベルの連携強化、およびマネジメント効率化のために行政能力向上への支援に重点的に取り組む。

2-3. 行政能力向上・制度整備

- ・ 「地方農村部の活性化」と「産業育成」の2つの課題達成に必要な行政機能を強化するために、行政機関の人材育成や制度整備に重点的に取り組む。
- ・ 課題達成のための投入として、能力構築・制度整備に係る技術協力を中心に取り組み、また、予算管理能力や計画実行能力の強化、事業効果の面的拡大を図る観点から、財政支援の可能性についても検討する。

<行政機能強化>

- ・ 各重点課題達成のために、GPRS に基づく行動計画と予算化に反映させるため、財務管理・開発計画に係る支援を検討する。
- ・ 各重点課題達成のため、中央・地方行政機関の管理能力の向上と政策・制度作り、執行能力の強化支援に重点的に取り組む。その際、地方分権化の流れに沿って、中央と地方の相互補完機能の強化にも重点的に取り組む。

(了)